



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 4393 URL https://www.boi.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CF0経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績(2024年10月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	3,534	△15.4	835	43.3	840	44.5	537	39.6
2024年9月期第1四半期	4,177	△50.1	582	△79.4	581	△79.5	384	△80.2

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 537百万円(39.6%) 2024年9月期第1四半期 384百万円(△80.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	135.17	—
2024年9月期第1四半期	96.16	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	6,620	5,003	75.6
2024年9月期	5,802	4,466	77.0

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 5,003百万円 2024年9月期 4,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

2025年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期1Q	4,003,000株	2024年9月期	4,003,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	28,608株	2024年9月期	28,608株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期1Q	3,974,392株	2024年9月期1Q	4,002,940株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進む一方で、物価上昇の影響により個人消費の伸びが鈍化し、一部に足踏み感が残る状況でしたが、持ち直しの動きも見られました。ただし、米国の政策動向や中国経済の長期停滞による懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっているほか、中東地域を取り巻く情勢、金融資本市場の変動等の影響にも十分注意する必要があるとされました。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2023年における世界のモバイルゲーム市場は8兆7,916億円、そのうち日本国内では1兆1,886億円と高い水準で推移しております（参考：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2024」）。

このような事業環境のもと、当社グループの中長期的な成長の要となる複数の新規アプリの企画・開発及び既存アプリの運営に取り組んでまいりました。当社グループの主力タイトルである『メントモリ』は、経年による減収は見られるものの、当第1四半期連結会計期間においては、サービス開始2周年の施策効果によりKPIが好調に推移し、直前四半期比で24.6%の増収となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,534百万円（前年同四半期比15.4%減）、営業利益は835百万円（前年同四半期比43.3%増）、経常利益は840百万円（前年同四半期比44.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は537百万円（前年同四半期比39.6%増）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ817百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が854百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円増加いたしました。これは主に、未払金が305百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ537百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を537百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、高品質ゲーム及びサービスの開発、世界同時運営及びグローバルIP展開等によって、数年ごとに年間売上高を数倍規模に引き上げていくことを目指しております。

連結業績予想については、当社グループが属する業界の変化が激しいこと、また機動的な投資判断を実施することから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,300	3,155
売掛金	1,544	1,913
有価証券	600	600
その他	794	353
流動資産合計	5,240	6,022
固定資産		
有形固定資産	58	56
無形固定資産	3	2
投資その他の資産	500	539
固定資産合計	562	597
資産合計	5,802	6,620
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	187	144
未払金	908	1,213
未払法人税等	1	5
その他	96	122
流動負債合計	1,193	1,486
固定負債		
長期借入金	13	1
その他	129	129
固定負債合計	142	130
負債合計	1,336	1,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	562	562
資本剰余金	715	715
利益剰余金	3,296	3,833
自己株式	△107	△107
株主資本合計	4,466	5,003
純資産合計	4,466	5,003
負債純資産合計	5,802	6,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,177	3,534
売上原価	2,041	1,672
売上総利益	2,135	1,862
販売費及び一般管理費	1,553	1,027
営業利益	582	835
営業外収益		
受取手数料	1	5
その他	0	1
営業外収益合計	1	6
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	581	840
税金等調整前四半期純利益	581	840
法人税等	197	303
四半期純利益	384	537
親会社株主に帰属する四半期純利益	384	537

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	384	537
四半期包括利益	384	537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	384	537

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	4百万円	3百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。